

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 阪口 裕美

1. はじめに

このたび、国際交流基金の助成金を受け、2015年7月31日から8月22日の3週間、語学留学の目的でアメリカ合衆国ワシントン州シアトルに訪問いたしました。滞在中はホームステイをしながら語学学校のKaplanに通い、英語のリスニング力とスピーキング力の向上に取り組みました。また、語学学校を卒業してからカナダに旅行に行きました。

2. 語学学校

学校のクラスは7クラスあり、入学した初日にクラス分けテストがありました。私のクラスは先生がとても元気で、クラスメートも勉強熱心で、すごく良いクラスでした。生徒の人数は一クラス15人くらいで、私のクラスには日本人、台湾人、韓国人、コロンビア人、サウジアラビア人、中国人の生徒がいました。

授業内容は、リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング全てをカバーしており、主にディスカッションを鍛えることを目的とした授業が多かったです。私はリスニングが元々苦手だったので、たまに授業の内容が分からない時がありましたが、隣のクラスメートに聞くと、簡単な単語に置き換えて親切に教えてくれたので理解することができました。私が入学したときは、絵についての授業が行われており、例えば自分の好きな画家を一人選んでその画家の絵についてプレゼンする授業や、何人かのグループで1枚の絵を見て、その絵について受動態を用いて説明するという授業がありました。他には、何人かのグループで物語を作って発表する授業や、ボキャブラリーを増やすことを目的とする授業もありました。

また校外学習では、フェリーに乗ってBrainBridgeIslandにあるアートミュージアムに行きました。そこでは好きな絵を5つ選んでその絵の感想を書くという課題が与えられました。そのあとクラスメートたちとMORAという有名なアイスクリーム屋さんに行き、周辺を少し観光し、とても楽しい時間を過ごしました。

私のクラスは皆とても仲が良く、クラス会があった日は、午後の授業が終わった後にメキシコ料理を食べに行きました。私が卒業した日には、送別会を開いてくれました。そこに私のクラスの先生と旦那さんも来てくださりました。とても親切な友達に囲まれて授業を受けることができよかったです。



クラスメイト



フェリーからのシアトルの眺め

3. ホームステイ

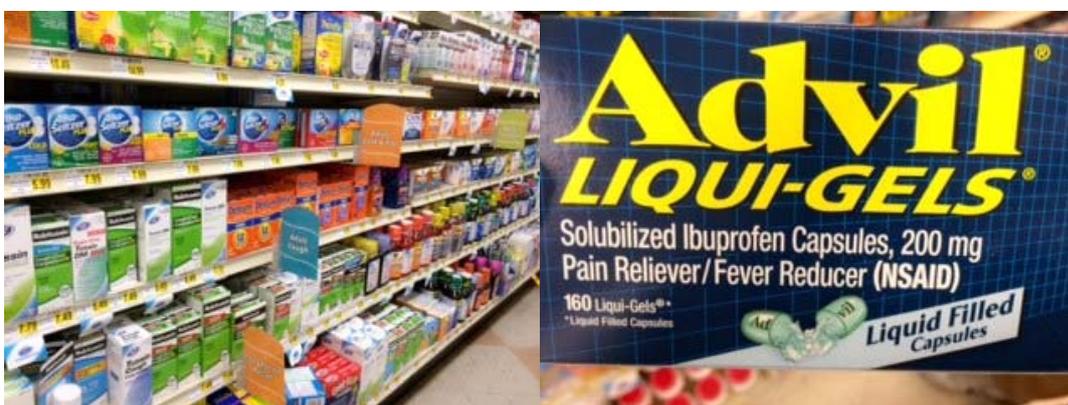
ホームステイ先は知人に紹介してもらいました。家族構成は、父、母、8歳の男の子、3歳の女の子、祖父、祖母でした。晩御飯はいつも日本食に近いものを作ってくれ、朝ごはんはパンケーキやワッフルを作ってくれました。庭で鶏を7匹飼っており、毎朝8歳の男の子が卵を収穫しに行き、その卵を使って目玉焼きを作ってくれました。また、ホームステイ先にはルームメイトが2人いました。2人とも私と年齢が同じ大学生で、授業がたくさんあるため、平日はあまり顔を合わせることがなかったのですが、休日は朝ごはんや昼ご飯を一緒に食べるのが多く、たくさん話すことができました。

私がホームステイ先に着いた次の日、家の近くの海に連れて行ってくれました。シアトルの海はすごく綺麗で広く、夢の中の世界のような感じでした。また、私が日本に帰る前日には、私と家族全員で外食をし、その後 water tower に行きました。water tower の頂上からのシアトル市内の眺めはすごく良く、夕日も見ることができました。



4. 薬局見学

家の近くの薬局を何件か見学しました。日本にはない薬が沢山ありました。薬局の店員さんによく売れる薬を聞いてみたところ、風邪薬の TYLENOL と Advil を紹介して下さいました。タイレノール(Tylenol)は、アセトアミノフェンを単一成分とする解熱鎮痛剤だそうです。現地に住む日本人の友達もこの薬をよく飲むと言っていました。アセトアミノフェンは胃を刺激しないことから空腹時にも使用できることが特徴だそうです。タイレノールで痛みが引かない場合 Advil・イブプロフェンが有効な場合があるそうです。解熱・鎮痛・抗炎症作用があり、歯痛・関節痛・筋肉痛・頭痛・生理痛などに効果があります。しかし、NSAIDs なので副作用として胃に刺激を与えることがあるので注意した方が良くとおっしゃっていました。他にも日本にはない薬が沢山あり、驚きました。



5. カナダ旅行

2週間の語学学校を終えた後に、シアトルからバスに乗って、カナダのリッチモンドとバンクーバーに行きました。知り合いの紹介で、日本で一度だけ会ったことがあるカナダに住んでいる友達の家を訪問しました。その友達は日本語も話せるのですが、私の英語の勉強のために英語で会話をしてくれました。その友達はリッチモンドとバンクーバーの観光に連れて行ってくれました。

カナダの雰囲気はアメリカとはまた違い、自然が豊かで街がとても綺麗でした。バンクーバーにある standing park では自転車を借りてサイクリングをしながら景色を見て楽しみました。また、Queen Elizabeth Park では綺麗に整備されたお花を見て幸せな気持ちになりました。



Queen Elizabeth Park



Standing park

6. 最後に

今回の語学留学で、スピーキング力が上がりました。リスニング力も以前よりは少し上がりました。語学学校の先生はゆっくりと丁寧な発音で話してくれるので、聞き取りやすかったのですが、ネイティブの人たちが話す速さの英語を完全に聞き取るのはまだまだ難しいです。これからはリスニング力をもっと向上させていくために、洋画を見たり洋楽を聞いたり、たくさん英語に触れていこうと思います。

また、海外の友達がたくさんできたことがとても嬉しかったです。2週間しか学校には通っていなかったけれど、今でも連絡を取り合っている友達もいます。とても貴重な体験ができたと思いました。

そして、留学して私自身の考え方や世界観がとても変わりました。日本と1番違うと感じたところは、アメリカやカナダには、「遠慮」という言葉がないということでした。これは文化の違いなのですが、Yes か No をはっきりさせる文化であるアメリカが新鮮で素敵だなと思いました。しかし日本では丁寧な言葉遣いで話すことや、礼儀などが重要視されているので、両方の文化の良い部分を合わせるとすごく良くなるのではないかと思います。

この留学経験を生かし、これからの学生生活を楽しみつつも頑張りたいと思います。